

マンドリン音楽図書 出版のご案内



岡村光玉氏による

サルヴァトーレ ファルボ と マンドリン音楽

- ◇ 発行者 : 中原 誠
- ◇ 仕様 : ペーパーバック、A5判、140頁
- ◇ 定価 : 本体1400円＋税
- ◇ 発行日 : 2011年2月24日
- ◇ 印刷所 : K. C. Print

■本の内容

岡村先生は、フィレンツェ滞在中の1976年12月、ファルボについて研究、探索した内容をまとめられ、1978年、イタリアで出版されました。日本語原稿の写しは、中野二郎先生にも贈られ、よくご利用になられたようです。そして、同じ原稿をもとに、2011年、この本を制作しました。

ファルボの生い立ちから突然の死まで、さまざまな活躍の軌跡や、マンドリン音楽に対する姿勢を解き明かすばかりでなく、ファルボ時代のイタリアと日本の斯界についても多く触れられています。マンドリン音楽の普及と発展に貢献したアレッシンドロ・ビッツァリ主宰の「イル・プレットロ誌」の活動状況や、その一部邦訳、オルケストラ・シンフォニカ・タケキ主宰の「マンドリン・ギター研究」など、今や目にすることができない貴重な記事も多々紹介されています。

まさに、「ファルボ時代の日伊マンドリン音楽の歴史探訪書」ともいえるべき内容です。

マンドリン音楽の愛好家の方々や、マンドリン音楽を志す音楽家の方々に、ぜひお勧めしたいマンドリン音楽の貴重な歴史書の一つと思います。

■岡村光玉先生のご紹介

1947年生まれ。高校時代にマンドリンクラブ入部。同志社大学マンドリンクラブでは指揮を担当。卒業後、1974年、マンドリン音楽の探索のため渡伊。同年、フィレンツェの国立ケルビーニ音楽院声楽科に入学。在学中、フィレンツェの現代音楽祭にてデビュー。1979年、同音楽院卒業後、故マリオ・デル・モナコに師事。1982年、第33回ヴィオッティ国際声楽コンクールにて金賞受賞。以後、オーストリアのウィーンに在住し活動。この在欧期間中に、マンドリンに所縁のある地や作曲家や指導者、ご遺族を訪ね、英雄葬送曲などの楽譜の日本への紹介や、イル・プレットロ誌の複写サービス、無縁仏同然だったムニエル墓標の製作や、メリアの地の特定、ヴィナッチャとムニエルの正確な関係の解説など、多くの貴重な情報を発信されました。1997年脳内出血、2003年脳梗塞で倒れ、失語症に陥るも、オペラのベルカント唱法を応用した独自の療法で奇跡的に回復。2004年帰国。翌年、「失語症」「声楽」岡村式発声研究所を設立。その後、コンサート活動、音楽療法士として老人ホームなどで歌唱指導、講演、翻訳、執筆活動等に取り組まれておられましたが、2017年10月、ご逝去。

■中原 誠

1951年生まれ。第5回日本マンドリン独奏コンクール第2位。現在、大阪府在住。奈良マンドリンギター合奏団所属、クボタ フィロマンドリーネン オルケスター後援会会員、日本マンドリン連盟会員、マンドリン音楽愛好家。

■取り扱いショップ

イケガク様、絃楽器のイグチ様、ミュージックブリストン様、フレット楽器ヤマサキ様

■ご注文、お問い合わせ

〒577-0817 大阪府東大阪市近江堂1-1-8 中原 誠

メール: mandolin.mn@gmail.com

ホームページ: <http://www.ne.jp/asahi/mandolin/falbo/>

・商品到着後2週間以内に、新生銀行またはゆうちょ銀行の口座にお振込みをお願いします。口座番号は、お申し込みいただいた際にご案内させていただきます。また、送料(日本郵便クリックポスト、全国一律185円)および振込み手数料は、申し訳ございませんがお客様のご負担とさせていただきます。